平田ロータリークラブ 週報 ~ No. 2370 (2025 年 9月 25 日) (編集 久)

Rotary

■平田ロータリークラブ 事務局

9:00 ~ 17:00 (土·日曜·祝日 休局)

〒691-0001 島根県出雲市平田町 2280-1 平田商工会議所 2F

TEL: 0853-63-3232 FAX: 63-5365

URL : http://hirata-rotary.jp/ Mail : office@hirata-rotary.jp

2025-26 年度 国際ロータリー会長 / フランチェスコ・アレッツォ 「よいことのために 手を取りあおう」

2690地区ガバナー/ 坂口 元昭 (米子南RC)

会長/ 土江 光二 副会長/ 大島 淳司 幹事/ 三好 洋平 会 計/ 小汀 泰之

■■■ 例会プログラム ■■■

	卓 話 者	演題	
9月25日	第2690地区 地区がげー 坂口元昭 様	地区ガバナー公式訪問例会	
10月2日	NPO 法人ひうた空き家再生舎 代表 吉岡拓也 様		
10月9日	会員 佐藤秀一	新会員スピーチ	
10月16日	休 会		
10月23日	SBIマネープラザ 店舗長 須藤勝也 様		

■■■ 出席報告 ■■■

会員数	出席者数	欠席者数	出席率
37	30	7	81.08

■■■ 欠席者 ■■■

原伸·木村·牧野·大國·大谷良·恒松·園山

■■■ 来訪者 ■■■

坂口元昭地区ガバナー・野上一成地区幹事(米子南)

■■■ メークアップ ■■■

9/16 大谷厚(松江しんじ湖) 9/21 清原(地区米山委員長会) 9/22 清原・福田(出雲中央) 9/24 加藤(大社)

■■■ 次回例会 受付当番 ■■■

(10月2日) 飯塚洋道/大谷良治/太田哲也(10月9日) 牧野晴彦/園 敬司/園山 繁

■■■ 近隣クラブ例会情報 (メークアップを考えましょう) ■■■

月	出雲中央 9/29(一)	松江南 9/29・10/27	
火	出雲 10/21 10/14(一)	松江しんじ湖 10/14-28	
水	大社	松江 10/15•29(一)	
木	(一); ビジター受付 なし	松江東 9/25-10/16-30(一)	
金	出雲南 9/26・10/17(一)		

■■■ 会長挨拶 ■■■

皆様こんにちは。

9月は「基本的教育と識字率向上月間」「ロータリーの友月間」です。

識字率と言う言葉は、私はロータリーに入会してから耳にする言葉になります。それだけ日本の教育は先進的だったのかなと感じています。識字率とは文字を読み書きし、理解できる事、またその能力となっています。世界の識字率の現状は、マイロータリーやロータリーの友などで記事、紹介されていますので皆さん良くご存じの事と思います。一方日本に目を向けるとデジタル化が進み、AIが台頭してくる現代では、「新しい識字率」が必要になってきます。「文字を読むだけではなく、情報を自分で読み解き自分で表現する力」と、坂口ともあきガバナーチャンネルで伺いました。僕が考える基本的教育と識字率向上も同じで、社会に参加するための第一歩として、読み書きや計算といった基礎力があれば、人々は情報を受け取り、生活を改善し、社会とつながることができます。

ただし、文字が読めるだけでは十分ではありません。大切なのは「読んで理解する こと」、そして「理解したことを自分の言葉で伝えること」です。さらに、人の意見を 聞いて視野を広げ、協力して課題を解決する力が求められます。 その力を育てるのが、ディスカッション形式(コミュニケーション)の学びです。意見を 共有し、異なる考えを受けとめる中で、基礎教育で得た知識は「知っている」から 「使える」へと変わります。

これは経営にもつながります。社員がマニュアルを読むだけでは成果は出ません。 理解し、応用し、仲間と協働して行動することこそが、組織を前に進める力にもつながります。

世界、日本、出雲、平田、どの段階でも解決すべく課題があり、大切な教育もあります、それをサポートして行くのが我々ロータリアンの使命であると感じています。本日は以上になります。







■■■ 幹事報告 ■■■

1. 会費の引落 10/6(月) 66,000円 (10・11・12月分)

2. 地区大会(10/5(日)米子コンベンションセンター)出席の皆さま

(9:00 ~ 受付 10:00 開会)

集合場所 いずも縁結び温泉ゆらり 第2駐車場

集合出発 8:30

服 装 上着ネクタイ着用

自家用車でお越しの場合は、温泉ゆらり第2駐車場の西側JA付近船川よりスペースに駐車ください。その付近でバスも待機しています。 なお 当日バスをご利用にならない方は事務局までお知らせください。

クラブ細則第5条第1節により10/30(木)年次総会を開催致します。 第3条第1節により次年度役員、会長、副会長、直前会長、幹事及び会計を含む9名の理事の立候補、推薦のある方は、本日より7日間受付いたしますので、文書をもってお申し出下さい。

■■■ 委員会報告 ■■■ ございませんでした。

■■■ スマイル ■■■

坂口元昭地区ガバナーよりスマイルを頂戴いたしました

全 員 (坂口元昭地区ガバナーの公式訪問を喜んで。)

(米山記念奨学生 段 安苗さんの平田クラブ最後の例会訪問となりました。今後のご活躍を祈念して。)





■■■ 例会プログラム ■■■

地区ガバナー公式訪問例会

第 2690 地区 2025 - 26 年度 地区ガバナー 坂口 元昭 様まずは、これまでお世話になられた方々への感謝のお言葉から始まりました。 2024-25 バナー補佐の小汀さん、米山奨学生のカウンセラーの清原さん、そして日々のロータリー活動を支えていただいている平田 RC の全会員の皆さまへ。 そして坂口地区ガバナーのスピーチの内容としてガバナーの役割についてお話をいただきました。

【 RIの役員としての役割 】

RI の方針「UNITE FOR GOOD」「よいことのために手を取りあおう」 マリオ・セザール・マルティンス・デ・カマルゴ氏さんが掲げられました。そして突然の辞任を受けフランチェスコ・アレッツが氏が急遽、RI 会長を受けられ、方針はそのままで受け継がれました。



(辞められたマリオ氏は2年間世界中をまわって会長になられたが、私は2週間で会長になったと準備期間の少なさを強調されていました。)



フランチェスコさんのメッセージにこうあります。

よいことのために手を取りあおう。シンプルながら、 力強いフレーズです。ロータリーでは、あらゆる取り組み、日々の 奉仕、入会してくる新会員、世

界的な課題への対応の裏に、二つのことがあります。それは「友情」と「信頼」です。 私が若き職業人としてロータリーに入会したとき、役に立ちたいと強く思っていま したが、人前で話すことを恐れていました。ロータリアンの仲間たちが私を信頼し、 さまざまな役割を担うよう背中を押してくれました。そうする中で、ロータリーが私の 人生を変えました。ロータリーは、勇気と目的を与えてくれました。何よりも、皆さま、 すなわち世界中の友人、チーム、ファミリーを与えてくれました。

友人の皆さま、引き出しの奥にしまっていた夢、特に大きすぎたり大胆すぎたりして実現できないと思っていた夢を、取り出すときが来ました。その夢に光を当てましょう。 クラブ、地域社会、そして世界のために、よいことのために手を取りあおうではありませんか。 リーダーとして奉仕するだけでなく、喜び、つながり、愛に満ちた 1年といたしましょう。 愛と感謝を込めて —————

また、世界の地域社会におけるロータリーの奉仕活動を強化することの重要性を 強調し、成長のためのキーワードとして「革新」「継続性」「パートナーシップ」を挙げ られています。

1. 革新(Innovation)「テクノロジー、社会の期待、経済状況は常に変化しており、 ロータリーもそれに合わせて進化しなければなりません。革新こそが、変化するこの 世界に私たちが適応する手段なのです。」

2継続性(Continuity)「継続性とは、画一性ではなく連携である。 地区リーダー 同士が連携し、年度を超えてロータリーの未来を見据えることで、長期的な成功 の基盤が築かれる。」

3パートナーシップ(Partnership)「分断されがちな世界において、ロータリーは団結と希望の光となります。良いことのために手を取り合えるロータリーを築き、すべての人にとってより明るい未来を実現させましょう。」

【 地区のリーダーとして 】

地区の目標として、地域社会とつながり、未 来を担う青少年の健全育成を軸とした青少 年奉仕活動を大きな柱とし、さまざまな奉仕 活動に取り組むとして、重点目標を挙げらて います。



- 1. クラブ優秀賞の達成(旧ロータリー賞)
- 2. インパクトのある青少年奉仕活動の実践
- 3. 公共イメージの向上(EndPolioとPolioDav)
- 会員増強:各クラブ純増1名以上
 2690地区会員数2855人→3000人へ
- 5. ロータリー財団への支援
- 6. 米山記念奨学会への支援
- 7. ロータリーカードの加入促進

の登録を目標としています。

- 8. 地区大会への参加 ※懇親会は無いです。 しかしながら前日に新入会員セミナーを開催します。
- 9. 2026 年国際大会への参加 台北 (2026 年 6 月 13 日-17 日) 1 グループ: 10 名以上 国際大会 6/13 ※前日 6/12 に地区ナイトを開催します。日本から 1 万人

その他に、ガバナー 月信の PDF 化と情 報発信、坂口もと あき CHANNEL の 活用ということで、



Youtube チャンネル見てください。1本/月更新します。ロータリー地区内だけではなく対外的にも情報発信をしていきます。

■■■ 会長·幹事懇談会 ■■■

ガバナーよりご寄付の件などについての説明

クラブとしての今までの取り組み、今年度の取り組み、将来への取り組みなど について懇談されました。

